

2018年度 交換留学 留学報告書

国際交流学科 3年

留学先：スペイン サラマンカ大学 国際コース

留学期間：2018年3月～2018年8月

約6ヶ月間のスペイン留学生生活を終わりました。6ヶ月というのはとても長いように思いますが、ふり返ってみれば本当にあっという間に過ぎてしまいました。そんなたった6ヶ月間ですが、月曜日から金曜日の日中は毎日学校に通い様々な違った国から来たたくさんの人と交流をしました。その中で、スペイン語はもちろんたくさんの学びがありました。

まず、スペイン語についてですが、留学終了の日が近づくにつれて語学力の伸びに悩まされることが多くなりました。ですが、スペインに到着したばかりのころを思い返すとホストファミリーともうまく会話を成立させることができずもどかしい思いをしていたと思い出しました。その出発点からは大きく向上させることができたと思います。また、現地でスペイン語を学ぶということは、実際に母語として使っているスペイン語を簡単に聴くことができ、具体的な言い回しやシチュエーションを自分で感じながら勉強できるというとても良い環境で学べたのだと思います。

そして、スペイン語の向上だけでなく、スペインという国についても多くのことを学ぶことができたと思います。日本にいたときはスペインは観光地のイメージが強く裕福な国なのだろうと思っていました。しかし、実際に半年間過ごす中で現地の人から聞く話や授業を通して、失業率がとても高く定職につくことが難しいことや、国の中でも大きな不安要素を抱えていることが分かりました。このように日本にいるだけでは知ることができないことがたくさんありました。

そんな暗い一面を持ちながらも明るいスペイン人の国民性がとても良いなと思いました。また、私たちが日本からイメージするスペインのように、スペインからイメージする日本もあまり具体的なイメージを持たれていなく、日本とスペインの交流がそれほど盛んではないように見え、少し寂しくなりました。これからもっと二国の交流が増えていったらいいと思います。